

# タイトル

クラス：1

学籍番号：123ABC

氏名：苗字名前

## 1 あいう

### 1.1 枠囲い

例 1.1. \_\_\_\_\_  
数列  $\{a_k\}$  について考える。

例 1.2. \_\_\_\_\_  
数列  $\{a_k\}$  について考える。

例 1.3. \_\_\_\_\_  
数列  $\{a_k\}$  について考える。

### 1.2 枠囲い続き

例 1.4. \_\_\_\_\_  
数列  $\{a_k\}$  について考える。

### 1.3 番号付き数式

$$\sum_{k=m}^n a_k = a_m + a_{m+1} + \cdots + a_n \quad (1.1)$$

### 1.4 表のサンプル

表と図の区別は、<figure>要素のどこに<figcaption>要素があるのか

- 一つ目の場合：表として扱われる
- 一番最後の場合：図として扱われる

表 1 銅線の抵抗値の温度変化

温度 $t(^{\circ}\text{C})$	19.0	24	28	30	19.0	24	28	30
抵抗 $R_{ab}(\Omega)$	7.3	7.4	7.5	7.6	7.3	7.4	7.5	7.6
抵抗 $R(\Omega)$	7.2	7.3	7.4	7.5	7.2	7.3	7.4	7.5

## 1.5 図のサンプル

次のような記法を使用します。

![銅線の抵抗値の温度変化](assets/1\_銅線.png){.fig #fig-Cu width=500}

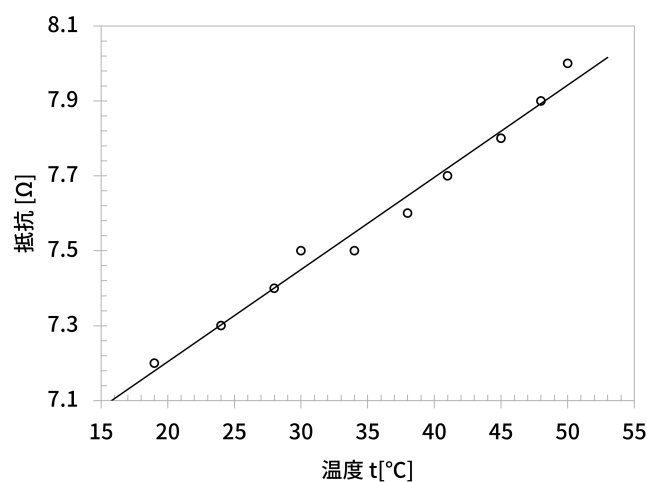


図 1 銅線の抵抗値の温度変化

- `.fig`
  - 図のためのクラス
  - おそらく、`theme-academic` で定義されていたはず
- `#fig-Cu`
  - 図の id
  - 一意にする必要がある
  - 別の場所で「`[ ](#fig-Cu){.fig-ref}`」と書けば、「図1」のように呼び出せる
    - `.fig-ref` は、このリポジトリで定義してある
    - 図に振った id を、a タグを介して取得しているらしい
    - 図の番号は自動で変更される

## 1.6 番号付き数式続き

$$\sum_{k=1}^5 k^2 = 1^2 + 2^2 + 3^2 + 4^2 + 5^2 = 55 \quad (1.2)$$

## 2 段落 2

例 2.1.

数列  $\{a_k\}$  について考える。

$$\sum_{k=1}^5 k^2 = 1^2 + 2^2 + 3^2 + 4^2 + 5^2 = 55 \quad (2.1)$$